

まちづくり交付金 事後評価シート
久住駅前地区

平成18年12月

千葉県成田市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	成田市	地区名	久住駅前地区
計画期間	平成16年度 ~ 平成18年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度 ~ 平成18年度		
モニタリング実施時期	-	事後評価実施時期	平成18年度	フォローアップ実施時期	平成19年度

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	久住近隣・渋川街区・台屋敷街区公園整備事業
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	久住駅前駐輪場整備事業(駐輪台数:400 150台) 久住中学校グラウンド整備事業(整備面積:0 18,600m ²) シルバー人材センター整備事業(整備面積:0 370m ²) (啓発)パンフレット作成事業(部数:1,000 0部)
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	久住駅前駐輪場整備事業:全体計画を目標年度に見合う台数の整備に変更したため。 久住中学校グラウンド整備事業:久住中学校のグラウンド等をコミュニティー広場の施設として利用できるよう整備し、新旧住民の交流を図ることを目的として事業変更(追加)した(目標・数値指標への影響はなし)。 シルバー人材センター整備事業:久住駅前地区の新入居世帯と既存集落世帯とのコミュニケーション活性化を目的として、高齢者福祉活動支援施設を事業計画に取り込んだ(目標・数値指標への影響はなし)。 (啓発)パンフレット作成事業:区画整理組合で作成することとなったため、事業中止。




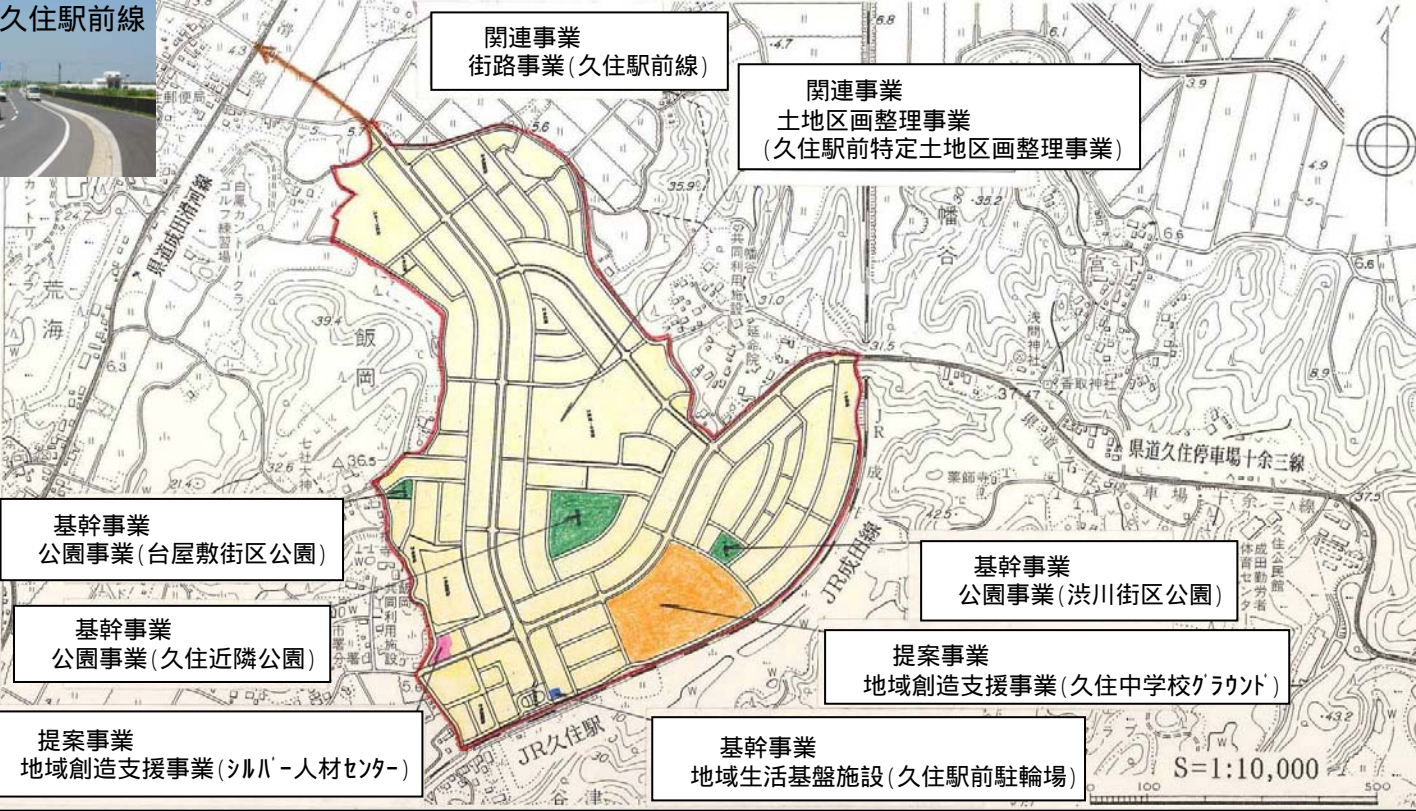



2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		達成度			達成見込みの有無		効果発現要因
	指標1	単位	モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見
	指標1	コミュニティー広場面積	ha	-				久住近隣公園のコミュニティー広場は、共用後は地域の交流拠点としての役割が期待される。
	指標2	団地入居世帯数	戸	-				平成19年度に中学校が開校することで教育環境が向上し、地区の魅力が高まることで、更なる入居世帯数の増加が期待される。
	指標3	駅周辺駐輪台数	台	-				利用条件が不利な仮設駐輪場で、路上駐輪がすべて吸収された。駐輪場の完成により、今後も路上駐輪が発生する恐れは少なくなる。

3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		数値			効果発現要因
	その他の数値指標1	単位	基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見	
		自治会数	団体	0 H15	-	2		入居世帯数の多い地区において住民により自治会が組織され、自発的なまちづくり活動が展開されている。
	その他の数値指標2	事業所数	社	3 H15	-	7	地域の利便性が向上したことを受けて4事業所が新設され、職住近接した自立的なコミュニティが形成されつつある。	

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	既存集落が新集落の防犯灯の維持管理費等を支援しており、新旧地区の交流が行われている。
-------------------------	--

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング			予定どおり実施できた		
予定していなかったが実施した						
予定したが実施しなかった・できなかった						
住民参加プロセス			予定どおり実施できた			
			予定していなかったが実施した			
			予定したが実施しなかった・できなかった			
持続的なまちづくり		計画地区における自治会の新設	予定どおり構築できた			自治会をきっかけに、さまざまな地区組織の形成や活動の活性化が図れるよう、支援を行う。
			予定していなかったが構築した			
			予定したが構築しなかった・できなかった			

様式2 - 2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

久住駅前地区(千葉県成田市) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標	【良好な住環境の形成による人口定着】 既存駅であるJR久住駅を中心に、駅前周辺の整備改善を行い、既存集落との調和を図り、秩序ある市街地の整備を行う。	まちづくり交付金の代表的成果	コミュニティー広場面積 (単位:ha)	0(H15) 0.29(H18)		
			団地入居世帯数 (単位:戸)	100(H15) 315(H18)		
			駅周辺駐輪台数 (単位:台)	30(H15) 0(H18)		
<p>道路の開通により、アクセス性が向上しました。</p>  <p>久住駅前線</p>	 <p>土地区画整理事業</p> <p>土地区画整理事業で、久住駅前地区内の街なみが整備されました。</p>	 <p>久住近隣公園</p> <p>住民同士の交流の場として、コミュニティ広場を整備しました。</p>	 <p>関連事業 街路事業(久住駅前線)</p> <p>関連事業 土地区画整理事業(久住駅前特定土地区画整理事業)</p> <p>基幹事業 公園事業(台屋敷街区公園)</p> <p>基幹事業 公園事業(久住近隣公園)</p> <p>提案事業 地域創造支援事業(シルバー人材センター)</p> <p>基幹事業 公園事業(渋川街区公園)</p> <p>提案事業 地域創造支援事業(久住中学校グラウンド)</p> <p>基幹事業 地域生活基盤施設(久住駅前駐輪場)</p>	 <p>渋川街区公園</p> <p>2箇所の街区公園を整備し、ゆとりのある生活空間を創出しました。</p>	 <p>久住駅前駐輪場整備</p>	 <p>仮設駐輪場(右下)の整備により、駅前の路上駐輪台数が0台になりました。</p>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>【人口増加のための方策】</p> <p>土地所有者との協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校が開校する平成19年度以降、本格的な人口増加が見込まれるため、駅前に100戸分の土地を所有する民間業者および事業施行者と、まちづくりについて 検討し土地を有効活用する方策について協議を行う。 <p>利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区の玄関ともいえるJR久住駅が便利に使えるよう、JRに対して、駅の有人化などを働きかける。 ・路上駐車対策として、警察等による監視を行う。 					